

湘南の風 夢のせてひらつか



緑豊かな西部丘陵、東西を流れる相模川と金目川。そして、そこに吹き込む相模湾からの海風。総面積67.88km²。温暖なこの舞台に生まれた平塚市は、25万人の市民のみなさんとともに、平成14年(2002年)4月1日、市制70周年を迎えました。



平成3年(1991年)に総合体育館と日本庭園が完成し、全面オープンした総合公園。かつてこの場所には、徳川家康が造った「中原御殿」の御林おほやしがありました。そして、その後、海軍火薬廠しょう、果樹試験場となり、現在の姿になりました。長い歴史の中で様々な人々が行き交ったこの地は、今も昔も平塚のまちを語る上で欠かせない場所です。

city
hiratsuka
kanagawa

70th
Anniversary



「あいさつ」

平塚の歴史や文化遺産を礎に、 夢のある未来へ向かっていきます。

平塚市長

吉野稜威雄

平塚市は四月一日に、市制施行七十周年を迎えました。人というと古希を迎えたこととなります。七十周年を記念して、「市民の鳥」の制定や、「ふるさと歴史かるた」の作成など様々な記念事業に取り組みます。中でも、このかるたを通して、子どもたちに平塚の恵まれた風土や歴史をよく知ってもらい、郷土平塚に対する愛着を深めてもらいたいと思っています。

戦後、平塚市は焦土と化したまちの荒廃の中から立ち上がり、不死鳥のようによみがえりました。先人たちのたゆまぬ努力により大きな成長を遂げ、現在の平塚のまちがつけられました。市内を散策し、先人たちの足跡を一つ

一つ訪ねていくと、あちらこちらに平塚らしいまちの魅力と、七十年という歳月の積み重ねを感じる事ができると思います。

また、平塚市が誇る施設に総合公園があります。プロ野球公式戦が楽しめる野球場をはじめ、サッカーや陸上の大会が開かれる競技場、体育館といった運動施設のほか、広大な敷地には自然を生かした各種広場などが整備され、市内外から大勢の方々にご利用いただいています。充実した施設が評価され、サッカーワールドカップに出場するナイジェリア代表チームのキャンプ地にも選ばれました。七十周年記念の年に、世界中の注目が集



まる大会の出場国受け入れができることを大変うれしく感じているとともに、サッカーを通じた国際交流が図られるものと期待しています。

さらに、年間を通して美術館や文化財団が中心に開いている音楽や芸術事業など、文化のかおり高い活動も盛んになってきています。地域活動や生涯学習の拠点となる公民館は市内二十六地区に設けられ、県内でも極めて恵まれた状況です。

さて、平塚市誕生の背景には、昭和四年の平塚町と須馬町の合併がありました。同じ年に昭和の大恐慌が始まっており、経済的に非常に困難な時期でした。このような時代を乗り越えてきた先輩方の努力にあらためて思いをよせるとき、わたしたちは将来を見つめ、確実な足取りを進めていかなければならないと強く感じます。

先行き不透明な現代社会ではありますが、平塚市の明るい未来に向けて礎を築いていくため、市民のみなさんには今後とも市政にご理解とご協力をお願いいたします。